

## 残留農薬検査(その2)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成22年度より農産物当たりの検査項目数を追加し、検査体制を一層強化しています。

今回は、平成25年10月から12月までに食品専門監視班及び各区福祉保健センターより搬入された農産物等の検査結果を報告します。

### 1 市内産農産物

11月に搬入されたかぶの根(2検体)、キャベツ(4検体)、こまつな(3検体)、さつまいも(1検体)、じゃがいも(1検体)、だいこんの根(2検体)、にんじん(1検体)、はくさい(2検体)、ブロッコリー(3検体)及びほうれんそう(3検体)、12月に搬入されたかぶの根(1検体)、しゅんぎく(1検体)、だいこんの根(3検体)、だいこんの葉(2検体)及びはくさい(3検体)の計32検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、だいこんの葉2検体、はくさい2検体及びほうれんそう2検体から計8種類10項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

### 2 国内産農産物

10月に搬入されたかき、キャベツ、さつまいも、チンゲンサイ、トマト、日本なし、はくさい、ピーマン、ぶどう及びほうれんそう(各1検体)の計10検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、かき、日本なし、ぶどう及びほうれんそう各1検体から計8種類9項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(H25年10月～H25年12月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
<b>市内産農産物</b>						
かぶの根	横浜市	3	0			
キャベツ	横浜市	4	0			
こまつな	横浜市	3	0			
さつまいも	横浜市	1	0			
じゃがいも	横浜市	1	0			
しゅんぎく	横浜市	1	0			
だいこんの根	横浜市	5	0			
だいこんの葉	横浜市	2	1	{ BHC クロロフェナピル オキサミル クロチアニジン チアメキサム フルフェノクスロン	0.008	0.2
					0.09	3
					0.01	1.0
					0.01	5
					0.02	3
				0.02	10	
にんじん	横浜市	1	0			
はくさい	横浜市	5	1	アセタミプリド	0.04	0.5
			1	フルフェノクスロン	0.04	0.5
ブロッコリー	横浜市	3	0			
ほうれんそう	横浜市	3	1	イミダクロプリド	0.06	15
			1	フルフェノクスロン	0.03	10
<b>国内産農産物</b>						
かき	和歌山県	1	1	{ シペルメトリン テブコナゾール	0.03	2.0
					0.03	1
キャベツ	群馬県	1	0			
さつまいも	茨城県	1	0			
チンゲンサイ	茨城県	1	0			
トマト	茨城県	1	0			

表1 残留農薬検査結果 (続き)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
日本なし	福島県	1	1	クレソキシムメチル ペルメトリン	0.03	5
					0.20	2.0
はくさい	岩手県	1	0			
ピーマン	岩手県	1	0			
ぶどう	長野県	1	1	クロルフェナピル フルバリネート	0.01	5
					0.02	2.0
ほうれんそう	岩手県	1	1	クロチアニジン シペルメトリン フルフェノクスロン	0.05	3
					0.15	2.0
					0.38	10

表2 農薬の検査項目及び検出限界(114項目)

農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)
BHC(α、β、γ及びδの和)	0.005	シハロトリン	0.01	フェニトロチオン	0.01
DDT(DDE、DDD及びDDTの和※)	0.005	シフルトリン	0.01	フェンクロルホス	0.01
EPN	0.01	シペルメトリン	0.01	フェンスルホチオン	0.01
アクリナトリン	0.01	ジメチルビンホス	0.01	フェンチオン	0.01
アセタミプリド	0.01	ジメトエート	0.01	フェントエート	0.01
アゾキシストロビン	0.01	シメトリン	0.01	フェンバレレート	0.01
アルドリン及びディルドリン	0.005	スルプロホス	0.01	フェンピロキシメート	0.01
イソフェンホス	0.01	ダイアジノン	0.01	フェンプロバトリン	0.01
イソプロカルブ	0.01	チアクロプリド	0.01	ブタクロール	0.01
イプロベンホス	0.01	チアメキサム	0.01	ブタミホス	0.01
イミダクロプリド	0.01	チオベンカルブ	0.01	ブプロフェジン	0.01
インドキサカルブ	0.01	チフルザミド	0.01	フルジオキシニル	0.01
エスプロカルブ	0.01	テトラクロルビンホス	0.01	フルシトリネート	0.01
エチオン	0.01	テトラコナゾール	0.01	フルトラニル	0.01
エトプロホス	0.005	テトラジホン	0.01	フルバリネート	0.01
エトリムホス	0.01	テブコナゾール	0.01	フルフェノクスロン	0.01
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	テブフェノジド	0.01	プロシミドン	0.01
エンドリン	0.005	テブフェンピラド	0.01	プロチオホス	0.01
オキサミル	0.01	テフルトリン	0.01	プロパホス	0.01
カズサホス	0.01	テフルベンズロン	0.01	プロピザミド	0.01
カフェンストール	0.01	デルタトリン及びトラロトリン	0.01	プロメカルブ	0.01
カルバリル	0.01	テルブホス	0.005	プロモプロピレート	0.01
クレソキシムメチル	0.01	トリアジメノール	0.01	ヘキサコナゾール	0.01
クロチアニジン	0.01	トリアジメホン	0.01	ヘキサフルムロン	0.01
クロマフェノジド	0.01	トルクロホスメチル	0.01	ヘプタクロル(エボキドを含む)	0.005
クロルピリホス	0.01	パラチオン	0.01	ペルメトリン	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	パラチオンメチル	0.01	ペンコナゾール	0.01
クロルフェナピル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01	ホサロン	0.01
クロルフェンソン	0.01	ビフェントリン	0.01	ボスカリド	0.01
クロルフェンビンホス	0.01	ピペロホス	0.01	マラチオン	0.01
クロルプロファミ	0.01	ピラクロストロビン	0.01	マイクロブタニル	0.01
クロロクスロン	0.01	ピリダフェンチオン	0.01	メチダチオン	0.01
シアノフェンホス	0.01	ピリブチカルブ	0.01	メキシフェノジド	0.01
シアノホス	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	メトラクロール	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	メビンホス	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	ピリミホスメチル	0.01	リニューロン	0.01
ジクロラン	0.01	ピリメタニル	0.01	リンデン(γ-BHC)	0.002
ジコホール	0.01	フェナリモル	0.01	ルフエヌロン	0.01

※ DDTはp,p'-DDE、p,p'-DDD、o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

【 検査研究課 微量汚染物担当 】